

県内農業を支えるビジネス経営体の発展モデル

研究課題名

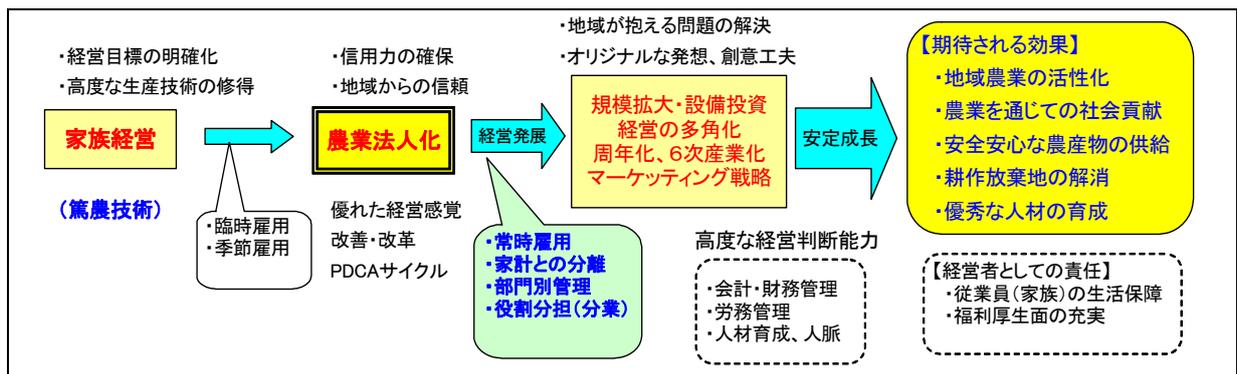
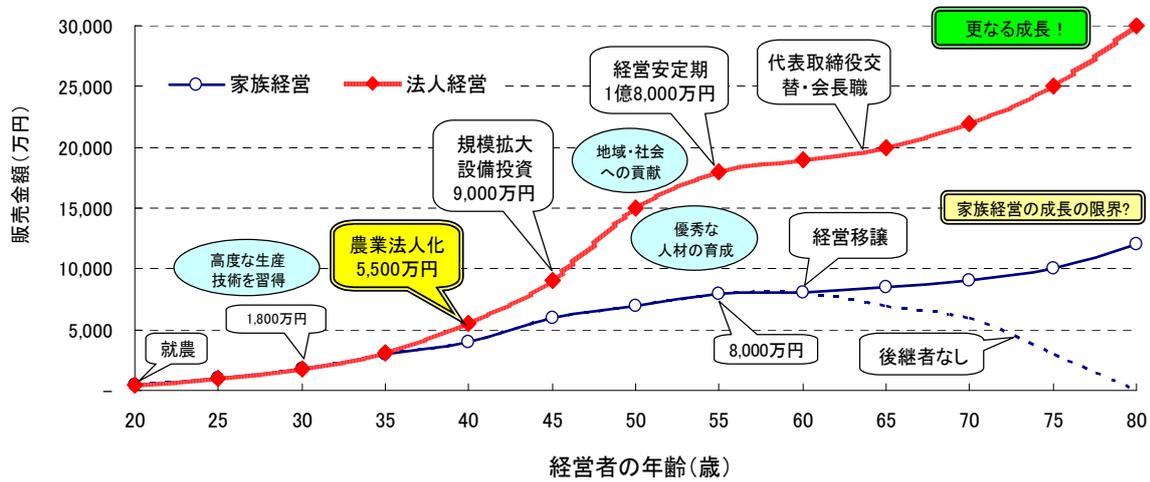
静岡県農業の成長戦略を支える担い手育成に関する研究（平成26年～28年度）

[研究のねらい]

農業の担い手の減少と高齢化の進展により、今後の県内農業生産の脆弱化が危惧されていますが、これらの対策として、本県独自の企業的な経営体を育成するためのモデルについて考察しました。

[研究の成果]

県内を代表する先進的な120経営の事例を用いて、農業者がビジネス経営体へと成長発展する過程を調査しました。これらをもとに、家族経営から雇用を積極的に活用した大規模法人経営へと成長・発展していく過程を「理想的な成長発展モデル」として作成しました。



ビジネス経営体として大きく発展している農業経営主は、40～45歳くらいに法人化を図り、その後、雇用活用や積極的な設備投資により規模拡大を図るとともに、地域農業の活性化や農業を通じての社会貢献にも大きな役割を果たしています。